

不正で延期

手稼働巡り関電・九電 2



中国にロボ工場

独クーカ、生産能力4倍に 15



北朝鮮に制裁

中朝交易の拠点ル

生産性考

危機を好機に 5

排水速度が通常の2倍の浴槽、利用者のリハビリ記録を一括管理するナビゲーションシステム。介護する人の負担軽減と、介護される人の快適さを高める先端機器がそろった。パナソニックエイジフリー(大阪府門

努力生かせぬ介護

真市)がさいたま市に開いたデイサービス施設だ。大手メーカーならではの技術力でサービス向上に挑む。大企業が挑む 「人手と時間が必要な業務を効率化し、高齢者に手厚く寄り添う」。施設の女性職員は胸を張る。同社は職員1人のリモコン操作でベッドを車いすに変え、1分ほどで寝たきりの人を移せる体制も整えた。高齢者の転倒率の低下など安全面もアピールする。

社会保障こそ成長の源



手厚いリハビリで自立を後押しするが… (群馬県高崎市の日高デイトレセンター)

ど生産性向上は担い手不足解消の切り札となる。だが、介護は企業の創意工夫を十分生かせる仕組みになっていない。どのような状態の人に、どんなサービスを提供したかで介護の報酬は決まる。人員配置の基準も厳しく、デイサービスだと原則5人の利用者に職員1人が必要。ロボットも使い効率的にサービスを提供しても、人手は減らせない。エイジフリー社も拡大戦略の修正を迫られた。通

業を縛る。 成果が裏目に 「筋トレを増やしましょう」。エムダブルエス日高(群馬県高崎市)のデイサービス施設。リハビリに励む40代男性に職員が声をかけ、専用メニューで後押しする。ただ健康体に近づけば、経営にはマイナスだ。だが、現実には零細な社会福祉法人が多く、産業としての経営効率は低い。日本性向上で難関を突破し、世界にそのノウハウを提供できれば、日本の新たな成長の源にもなりうる。 (この項おわり)

電子版 介護職員、古い経営を嘆く ▼トップトピック一覧▶連載企画

所介護の利益率(税引き前)業)が2671円。製造業は月の利用者が3000人以上(5228円)の半分だ。下だとマイナス4%だが、901人以上はプラス10%。資材の共同調達や組織で進む。社会保障給付費は団塊世代がすべて75歳以上になる25年度、150兆円に参入したSOMPPOホールディングスの桜田謙悟社長も「事業者には一定の規模が必要」と説く。だが、現実には零細な社用も抑える。これからアジア各国も高齢化する。生産性向上で難関を突破し、世界にそのノウハウを提供できれば、日本の新たな成長の源にもなりうる。